

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

## 長久手市地域公共交通会議

平成20年11月25日設置

フィーダー系統 平成30年6月 確保維持計画策定等

【長久手市の地域特性】

- ・市の中心を東西方向にリニモ、市西部を中心に民間の名鉄バスが路線網を形成。
- ・市営のコミュニティバス（N-バス）が市内を面的にカバー。
- ・大型商業施設の開業や交通結節点の整備に伴い、交通利用者は近年増加傾向。

長久手市地域公共交通網形成計画(平成28年3月策定)

1) 期間:平成28年度～平成30年度

2) 将来像

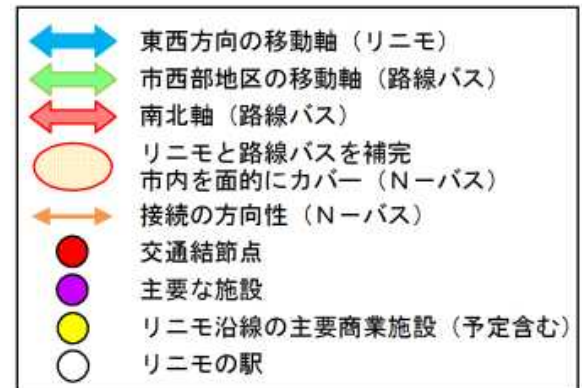
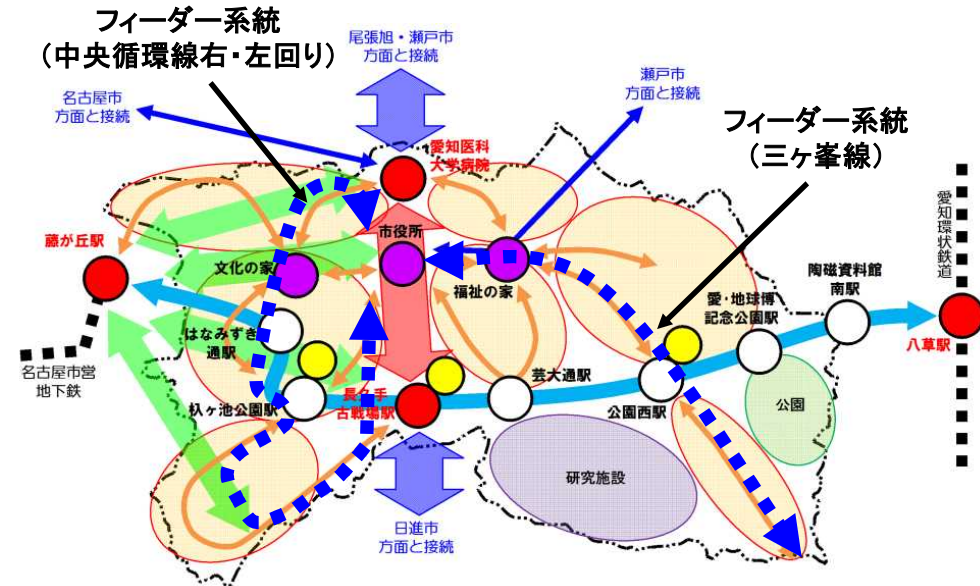
みんながつながり笑顔があふれる公共交通


3) 将来像を踏まえた目指すまちの姿

- ① みんなで育む公共交通のまち
- ② 人にやさしい公共交通のまち
- ③ 環境にやさしい公共交通のまち

4) 基本方針

- I 人々の生活を支える交通移動を提供し続ける
- II 地域ニーズに配慮しながら、互いに連携した利便性の高い公共交通ネットワークをつくる
- III みんなで意識して、環境にやさしい公共交通利用を進める
- IV まちづくりと連携した公共交通体系をつくる
- V 市民とともに、公共交通の利用促進に取り組む



実施事業	概要	実績等
公共交通利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民記者による公共交通かわら版の発行。</li> <li>市民主体で構成する公共交通応援隊による利用促進活動。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H30.3 かわら版の発行</li> <li>H30.11のイベント開催に向けた支援</li> </ul>  <p>～公共交通応援隊からのお知らせ～ N-バス応援ソングができました!!</p> <p>「親子でEh」のよ！公共交通の「N-バスソングを作ろうプロジェクト」で書いた歌を公共交通応援隊が完成させて、N-バス応援ソングを作りました。 市HPにて公開しておりますので、是非お聞きください。</p> <p><b>N-バス 応援ソング「たいまきN-バス」</b> 作詞：公共交通応援隊 &amp; You 作曲：はしだゆみ</p> <p>生まれた時からN-バスに乗る 親子に嬉しい通学手帳</p> <p>今日乗ったバスはコレだよ 今日はお母さんに行くよ</p> <p>★ ワクワク (N-バス) ドキドキ (N-バス) カカコリ、N-バス 大好き いんまどころん GO! GO! GO! N-バス</p> <p>まじのちび ちびのちび あひのちびをのっけい いんまから乗るN-バス ほけり手を揺る バスはニココロ</p> <p>★ くりかたし</p> <p>今日もまた来た! 楽しいN-バスは 私情あふれる ありがとう 朝山! こども達 ぼたの星 歴史と緑のN-バスツアー</p> <p>★ くりかたし</p> <p>～地域公共交通推進からのお知らせ～ 公共交通応援隊メンバーの募集</p> <p>公共交通応援隊のイベントグループでは、子ども向けの公共交通に関するイベントの開催や、N-バス応援ソング作成など、市民が公共交通の発展に力をつける活動を行っています。現在メンバーを募集しています。少人数での参加も歓迎です。小学生の保護者と一緒に応募していただけます。公共交通の発展に貢献したい方、子どもに関心がある方、イベントに興味がある方、ぜひご参加ください。</p> <p>募集要項(募集期間)は別途お知らせします。(募集)HPでも掲載しております。 募集要項(募集期間)は別途お知らせします。募集要項: 長久手市市民協会のウェブサイト 長久手市市民協会のウェブサイト (募集)HPでも掲載しております。</p> <p>期 間 登 録 期 間 長久手市市民協会のウェブサイト 〒480-1196 長久手市市民協会のウェブサイト TEL 0561-56-0600(直通) FAX 0561-43-2100 http://www.city.nagakute.lg.jp/ 発行日: 平成 30年 3月</p> <p>長久手公共交通かわら版 第9号 平成30年3月</p> <p><b>のりやあせ</b></p> <p>長久手公共交通かわら版「のりやあせ」は、市内公共交通の活性化を目指して、市民記者が中心となって発行している情報誌です。 第9号では、愛知淑徳大学上原ゼミのりニモ活性化に向けた取組みや、公共交通応援隊が中心となって作成したN-バス応援ソングの紹介を行います。</p> <p>Q1: 上原ゼミがりニモ活性化に向けた活動をはじめたきっかけは?</p> <p>平成25年から長久手市役所にインターンシップで就職体験したゼミの先輩が、りニモ活性化の推進を市役所へ行ったことがきっかけです。 これまで就活中の学生を対象とした「学生と企業の交流員」や、りニモ駅で読書や読書などを提供する「りニモ読書カフェ」などを自分たちで企画実行してきました。イベント前は準備期間に、りニモでの実地研修を行い、りニモ利用者の増加を促してきました。</p> <p>Q2: 平成29年はどんな取組みを実施したの?</p> <p>これまで、りニモ駅で読書販売の販売を行う「りニモ読書カフェ」や、りニモ駅周辺で読書を行う「学生と企業の交流員」を実施してきました。平成29年はこれまで実施してきた「学生と企業の交流員」を2名増に増えたほか、9月に、イオンモール長久手さんと連携し、初の企画となる「学生と読書のショップ」によるスイーツフェアを開催しました。</p>
次期網形成計画策定に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の方が日頃感じている公共交通についての困りごとなど、市内の公共交通における課題を把握するための意見交換会を開催。</li> <li>庁内関係各課で構成するネットワーク調査研究会を開催し、次期網形成計画について横断的な意見交換を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H30.6～7 市内の6小学校区ごとに実施。(参加者：計35名)</li> </ul>

実施事業	概要	実績等
新たな移動支援の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験的にドア・ツー・ドアの市内移動支援「定額乗合タクシー」を、H30.9～10の2か月間実施。</li> <li>・対象は「赤あつたかあど」保有者（満65歳以上及び満12歳以上で障がい者手帳をお持ちの方）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者：延べ696人</li> <li>・乗合率：4.65%</li> </ul>
広域公共交通網に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾三地区広域公共交通網の検討に向けて、豊明市、日進市、みよし市、長久手市、東郷町で構成する協議会を設置。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.3 尾三地区広域公共交通基礎調査報告書の作成した。</li> <li>・調査結果を踏まえ、事業者（名鉄バス）との意見交換を行った。</li> <li>・名城大学理工学部との共同事業として、豊明市、みよし市、長久手市、東郷町の4市町のコミュニティバスのオープンデータ（GTFS形式）を作成し、Googleマップ上での乗換案内の表示することを予定している。</li> </ul>
その他の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Nーバス年末試行運行を昨年を引き続き実施に向けた調整。</li> <li>・Nーバスの道路渋滞による遅延の解消、乗継の改善及び乗務員の乗務時間の法令遵守のため、所要時間を延長するダイヤ改正に向けた調整。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.12.29、30 試行運行（H29実績：1便あたり7.4人利用）</li> <li>・H31.4から実施を予定（9系統中、7系統で1～2便減便）</li> </ul>

#### 【長久手市地域公共交通網形成計画の評価の考え方】

- ・ 網形成計画で取組む事業の評価は、長久手市地域公共交通会議で審議
- ・ 公共交通利用者数の経年変化は、交通事業者の実績報告で経年変化を把握
- ・ 公共交通に関するアンケート調査を行い、事業内容の評価・改善に反映

#### 【長久手市地域公共交通網形成計画の評価】

- ・ 公共交通の利用者数の増加は、リニモ沿線への大型商業施設の立地が影響。
- ・ 目標b・c・d)は現形成計画の全ての取組が計画どおり実施された効果が出たものと推察。
- ・ これらの評価が継続するように、H31以降の次期網形成計画を策定中。

目指す まちの姿	目標	評価指標	評 価	
① みんなで 育む公共交 通のまち	a)公共交通の 利用者数の 増加	対前年度比増加	リニモ：9,929人/日(H28)→11,378人/日(H29) 名鉄バス：2,859人/日(H28)→3,013人/日(H29) N－バス：679人/日(H28)→729人/日(H29) 注) リニモとN－バスは各年4/1～3/31 名鉄バスは各年5月調査実績	達 成 達 成
	b)協働での取 組の市民参 加意識の向 上	「利用促進活動への市民 参加の賛同割合」の 調査段階ごとでの増加	65歳未満：65.8%→77.8%※ 65歳以上：48.6%→57.2%※ 全 体：60.4%→71.5%※	達 成 達 成
		「利用促進活動の認知度」 の調査段階ごとでの増加	・かわら版の発行 7%→7%※ ・市HPでの形成計画公開 10%→17%※ ・市HPでの公共交通情報公開 34%→40%※	未達成 達 成 達 成
② 人にやさ しい公共交 通のまち	c)公共交通に 対する市民 意識の向上	「公共交通利用を第一に 考える」割合の 調査段階ごとでの増加	65歳未満：12.6%→18.6%※ 65歳以上：28.2%→33.7%※ 全 体：16.9%→22.1%※	達 成 達 成 達 成
③ 環境にや さしい公共 交通のまち	d)公共交通の 利用回数の 増加	市民の利用回数の回答が 「減った」より「増えた」の割 合の調査段階ごとでの増加	リニモ：増30.8%・減21.1%→増23.1%・減9.6%※ 名鉄バス：増20.7%・減15.7%→増19.2%・減10.6%※ N－バス：増23.8%・減13.6%→増24.5%・減18.8%※	達 成 達 成 達 成

※H25→H29のアンケート調査値



## 【生活交通確保維持改善計画(フィーダー系統)の評価の考え方】

- ・フィーダー系統の補助を受けているN-バスは路線別の評価を実施
- ・網形成計画の評価指標との整合を図るため、評価期間(H28.10~H29.9)の対前年度比増加に対する達成度を評価

## 【生活交通確保維持改善計画の評価】

- ・福祉の家線は昨年に引き続き未達成。
- ・市民アンケートと意見交換会の結果から、市役所で他路線との乗り継ぎが不便な便の存在を把握
- ・策定中の網形成計画では、N-バスの見直しを新たな事業として位置付け

## N-バス(路線別の評価)

路線名	フィーダー系統	H28.10/1~H29.9.30 実績 (人/日平均)	H29.10/1~H30.9.30 実績 (人/日平均)	評価
中央循環線(右回り)	○	126	133	達成
中央循環線(左回り)	○	120	128	達成
福祉の家線		56	53	未達成
西部循環線(右回り)		74	77	達成
西部循環線(左回り)		85	88	達成
藤が丘線		134	134	達成
三ヶ峯線	○	87	89	達成
東部線		8	6	未達成
北部線		7	10	達成

## 1 評価結果に対する対応方針

### 1) かわら版の認知度向上

- かわら版は市役所、主要施設、各交通機関などに配布を行ってきたが、市民が目にしやすい配布場所の拡充を行う。
- 「かわら版」と本情報紙の愛称である「のりゃあせ」が同一のものであることの広報紙などを通じてPRを行い、認知度を高める。

### 2) N-バス未達成路線の利用者の確保

- 福祉の家線は、後述するN-バスの改善の中で乗り継ぎが不便な便を解消し、利用者数の増加を目指す。
- 東部線は、北部線とともに利用者数が少ない路線であるので、次期網形成計画に位置づけるN-バスの見直しで改善を目指す。

## 2 アンケートや市民との意見交換を踏まえた対応方針

### 1) N-バスの改善

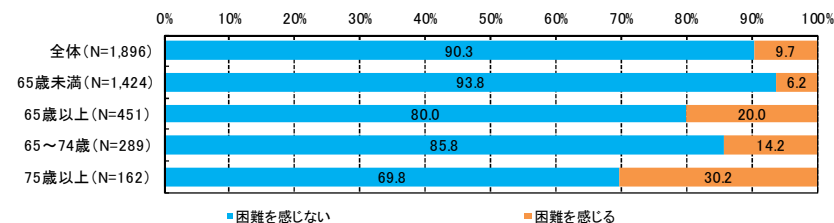
- 相次いでオープンした大型店舗の影響による渋滞で、遅延に伴う乗継の接続不良や、運転手の乗務時間の法令遵守に影響が出ていた。
- 通常ダイヤでも乗り継ぎが不便な便があることも踏まえ、乗継改善と乗務時間の法令遵守のため、N-バスの運行ダイヤの改正をH31.4より実施予定。

### 2) 各公共交通の連携

- 市内の地区によって異なる様々な移動ニーズに対応するため、リニモ、路線バス、N-バスが一体となった対応を目指す。
- N-バスはH31～H32で見直すことを次期網形成計画に位置づけ。

### 3) 多様な移動ニーズへの対応

- 年齢層が高いほど、最寄りバス停までの徒歩移動に困難を感じる割合が増加。
- 新たな移動支援策として、試験運行を行った「乗合タクシー」の本格運行を目指し、次期網形成計画に位置づけ。



最寄りのバス停までの徒歩移動に困難さの回答割合

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

## 長久手市地域公共交通会議

平成20年11月25日設置

フィーダー系統 平成30年6月 確保維持計画策定等



直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<p>相次いでオープンした大型店舗の影響によるバスの遅延を踏まえた渋滞対策の対応。</p>	<p>N-バスの運行ダイヤを見直し、遅延の解消、乗継改善及び乗務時間の法令遵守のため名鉄バスと協議調整。</p>	<p>N-バスの運行ダイヤの改正をH31.4より実施予定。</p>
<p>長久手古戦場駅と愛知医科大学病院の乗り継ぎ拠点を結ぶ南北広域幹線軸の構築を踏まえ、尾三地区における広域的公共交通ネットワークの構築の期待。</p>	<p>H30.3に尾三地区広域公共交通基礎調査報告書の作成し、結果を基に尾三地区関係市町と協議を継続中。</p>	<p>次期網形成計画の計画事業の1つに「市外に接続する公共交通機関との連携」を位置づけ、接続待ち時間の短縮による利便性確保を目指す。</p>
<p>【計画推進事業】 さらに地域を主体とした利用促進策の推進とアンケート結果を基にした持続可能な公共交通ネットワークの構築の期待。</p>	<p>H31.3中に次期網形成計画を策定予定。 計画事業の1つに「利用状況やニーズに応じたバス路線への見直し」を位置づけ。</p>	<p>N-バスの見直しを計画事業に位置付け、市民アンケートと意見交換会の結果を踏まえ、利便性の向上に向けた具体的な検討を実施しH33からの運行開始を目指す。</p>

## 1 次期網形成計画の策定に備えて意見交換会を開催し、公共交通の困りごとを把握

### ■把握した意見を次期網形成計画に反映

- ・市内の各公共交通の連携、Nーバスの商業施設経路や福祉の家への行きやすさの確保など多数の意見が出された。
- ・次期網形成計画の基本方針に「各公共交通の連携」と「多様な移動ニーズへの対応」を位置づけ計画策定以後に具体的な検討実施を予定。



## 2 広域公共交通網形成に向けた検討

### ■尾三地区広域公共交通の推進協議の継続

- ・平成29年7月に尾三地区の4市1町(豊明市、日進市、長久手市、みよし市、東郷町)による尾三地区広域公共交通推進協議会を設置。
- ・平成30年3月にまとめた尾三地区広域公共交通基礎調査報告書を基に、尾三地区関係市町と協議を継続中。

## 3 リニモ沿線まちづくりの推進

### ■リニモ利用者数が増加

- ・本市では交通とまちづくりが一体となった外出しやすい環境整備の一環として、リニモを中心としたまちづくりを関係者と連携して進めてきたことにより、リニモの利用者数は増加。
- ・長久手古戦場駅と公園西駅には、大型商業施設がオープンするなど、駅周辺の土地区画整理事業を推進。
- ・網形成計画の計画事業として、リニモと他の公共交通の接続利便を強化するための交通結節点の整備や利用促進事業を実施。

